

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の取組(活用実績)

特別支援学校の安全な環境の確保

鳥取県教育委員会事務局特別支援教育課

【県立特別支援学校通学支援事業(単県)】

【事業概要】

◆目的

児童生徒の学校生活での感染リスクを低減させるため、可能な対策を行う。

◆交付金を充当する経費内容

感染症拡大防止のための給食補助、分散授業補助等

【事業の分類】

公助・感染拡大防止

【事業費(決算額)】

事業費 5,590,307円

臨時交付金充当額 5,000,000円

【事業の対象(交付対象者、対象施設等)】

◆期間

令和2年5月から令和3年3月分

◆対象者

特別支援学校児童生徒

【事業の効果検証】

対象の特別支援学校内でアンケートにより効果検証を実施。

以下、アンケート結果。

- ・安全で安定的な給食提供ができた。
- ・分散授業実施により、安全安心な環境で授業を行えた。
- ・個別対応児童の別室対応により、安全安心な環境で授業を行えた。
- ・普通教室や特別教室等の定期的な消毒作業により、安心安全な環境で授業を行えた。

【事業実績】

- ・ランチルームにおける分散昼食の補助業務。
- ・密を避けるために行う分散授業の補助業務。
- ・教室等の消毒作業。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の取組(活用実績)

特別支援学校の安全な通学環境の確保

鳥取県教育委員会事務局特別支援教育課

【学校保健特別対策事業費補助金(国補助)】

【事業概要】

◆目的

児童生徒の通学時の感染リスクを低減させるため、特別支援学校のスクールバスの増便等を行う。

◆交付金を充当する経費内容

感染症拡大防止のためのスクールバスの増便等

【事業の分類】

公助・感染拡大防止

【事業費(決算額)】

事業費	38,547,815円
臨時交付金充当額	19,000,000円

【事業の対象(交付対象者、対象施設等)】

◆期間

令和2年5月から令和3年3月運行分

◆対象者

特別支援学校に通学する児童生徒のうち、スクールバスを利用する者

【事業の効果検証】

- ・乗車率が60～90%だったスクールバスの乗車率を50%以下に抑えることができ、感染リスクを低減させ、安心して通学できる環境整備ができた。
- ・児童生徒の保護者から、コロナが心配で登校できなかった子が登校できるようになった等の感謝の声があった。

【事業実績】

・特別支援学校のスクールバスのうち、3校(白兔養護・倉吉養護・米子養護)の13コースのうち、乗車人数の多い11コースについて、増便(10コース)又は大型化(1便)し、運行した(介助員の増員含む)。